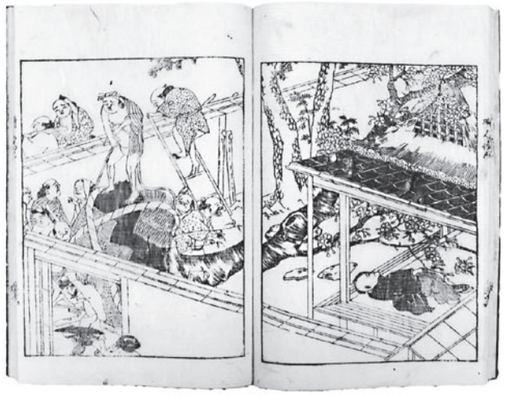
ときの玉手箱

～博物館からのメッセージ～

第139回

桜を愛でる人々



▲写真１『近世畸人伝』のうちの有馬涼及

▲写真２『続近世畸人伝』のうち三熊花顛像

『近世畸人伝』という書物があります。畸人は奇人のこと。変人の意味ではありません。有名無名を問わず、学者や詩人から、諸芸の人々にいたるまで百余人の伝記を記しています。これがなかなかおもしろい。

儒者では近江聖人と呼ばれた中江藤樹、画家では文人画の池大雅、変わったところでは、各地を遍歴して荒彫りの仏像を彫刻したことで知られる円空などが取り上げられています。

著者は伴高蹊（1733～1806）、挿絵は三熊花顛（思孝、1730～1794）が描き、寛政二年（1790）に刊行されました。高蹊は近江八幡出身の京都の商家で、江戸・大坂にも店を出す富商でした。一方で文章家・歌人として知られ、畸人伝はその代表作です。

この中に、有馬涼及という医師が出てきます。後水尾天皇の侍医を務めるほどの名医にして、「其狂態伝うる所の笑話多し」。正気とは思われないふるまいがあり、伝えるところでは、おかしな話が多いというのです。

さて涼及、嵯峨の角倉氏を往診する途次、みごとな桜の大樹を見つけて買い求めようとしますが、値段がはなはだ高い。さっそく角倉に借金して買い取り、人々に担がせて帰宅します。ところが庭に引き入れてみると、狭くて植える場所がありません。人々がどうしようと困っていると、涼及はこう言います。

よしよし、ただささながらおけ。寝ながらみるさくらとせん。

「さながら」は、そのまま。挿絵には狭い庭に運び込まれた桜と、肘枕しながら眺める涼及が描かれています（写真１）。根は菰に包まれたままで、枝のうちの一本は座敷にまで入り込んでいるありさま。

別段どうということはない、桜が横たわっているのなら私が寝ればよいのだ、というわけです。咲き誇る桜を移植するなど無茶な話ですが、この逸話には、桜を愛でる無邪気で風狂な人物を見守る、暖かな眼差しが感じられます。

実はこの図を描いた花顛自身が、桜に並々ならぬ情熱を注いだ桜狂いの画家として知られていました。「花」は桜、「顛」は常軌を逸することを意味します。評判になっていた、桜画の注文が多かったからでしょうが、ほとんど桜ばかりを描いていたといっても過言でありません。

寛政10年（1798）には、花顛の原著に高蹊が加筆訂正し、三熊露香（花顛の妹）が挿絵を描いて、畸人伝の続編が刊行されました。この時、花顛はすでに故人となっており、巻頭に、その伝と桜に見入る肖像が収録されています（写真２）。

江戸時代の先人を見習って、今年の花見は、風流に行くとしましょうか。

（彦根城博物館学芸員　齋藤　望）

『近世畸人伝』は、彦根城博物館テーマ展「桜の美」（３月14日㈮～４月15日㈫）で展示します。

施設だより

ひこね市文化プラザ

☎26-8601　FAX 26-8602
３月の休館日：3㈪・10㈪・17㈪・24㈪・31㈪

３月

2日㈰　13:30～
お楽しみコンサート「ひなまつり」
☆内容：滋賀の伝説「まんまる月夜の竹生島」。ファンタジックな音楽とお話の世界をお届けします！
☆出演：フルート・篠笛／井伊亮子、箏・十七絃箏／麻植美弥子、語り・歌／髙木充江
【鑑賞無料】

15日㈯　18:30～
渡辺貞夫クインテット2008
指定　１階席：大人5,000円　２階席：大人4,000円
※18歳以下は１・２階席とも1,000円
【好評発売中】

20日㈭㈷　15:00～
エコーメモリアル・チェンバーオーケストラ 演奏会
自由　大人2,000円　18歳以下1,000円
（当日：各500円増）
【好評発売中】

４月以降

5月15日㈭　19:00～
井上陽水コンサート2008
指定　8,400円
【3月30日㈰発売開始】
※発売初日は電話による予約販売のみ（一人４枚まで）
※発売初日の窓口での販売はありません

6月15日㈰　13:00～／16:00～　2回公演
こどもちゃれんじ　ファミリーシアター
しまじろうと ゆうえんちへ いこう！
指定　1,500円（3歳以上）
【4月20日㈰発売開始】
※発売初日は電話による予約販売のみ（一人６枚まで）
※発売初日の窓口での販売はありません

マーク：託児サービスがあります。（要予約）
※公演日の１週間前までにご予約ください。
マーク：公演終了後、彦根駅行き・南彦根駅行きの臨時バスの便があります。（有料）

チケット・入会のお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター　☎27-5200（9:00～19:00）

彦根城博物館

☎22-6100　FAX 22-6520
３月の休館日はありません。
3月11日㈫～同13日㈭は展示替えのため、展示室を一部閉室しています。

開館時間　8:30～17:00（入館は16:30まで）

テーマ展

～３月11日㈫
「雛と雛道具」
13代藩主井伊直弼の二女・弥千代の雛飾りを一挙公開。婚礼調度さながらの、繊細で優美な道具の数々が見どころです。

３月14日㈮～４月15日㈫
「桜の美」
桜の季節は、気もそぞろ。展示室も桜花爛漫です。能装束や漆工品に、日本の伝統的な桜の美を探ります。

▶唐織（金地枝垂桜に松皮菱散らし文様）

ギャラリートーク「桜の美」　観覧料が必要です
３月15日㈯　14:00～15:00
解説：本館学芸員　齋藤　望（さいとう　のぞむ）
※事前申し込みは不要です。当日館内講堂にお集まりください。

常設展の名品

ほんものとの出会い　―常設展示の名品―
譜代大名筆頭・井伊家に伝来した大名道具を中心に、日本の美と歴史にせまります。
「武器・武具」「能面・能装束」「茶道具」「湖東焼」「雅楽器」「調度」「絵画」「古文書」などの名品が次々と登場します。

３月12日㈬～４月14日㈪
鷲図　佐竹永海筆
彦根藩御用絵師・佐竹永海筆。御殿を荘厳にするふさわしい豪奢な作品。

市民体育センター

☎23-2293　FAX 23-2294
３月の休館日：4㈫・11㈫・18㈫・21㈮・25㈫

３月

16日㈰　9:30～12:00
フレッシュスポーツデー　ウォーキング
※雨天の場合中止
コース　市民体育センター周辺（同センター玄関前に集合）
申込方法　前日までに電話でお申込みください。
参加費　小学生以上　１人200円

23日㈰　10:00～12:00
フェスタ・エアロビクス
体育センター・エアロビクス教室のインストラクター３人のレッスンを体験し、楽しんでいただくエアロビクスのお祭りです。あなたも参加してみませんか！
会場　市民体育センター・第１競技場
参加費　１人500円（ドリンクつき）
定員　100人（先着順）
申込方法　前日までに電話で申し込んでください。

４月以降

5月17日㈯　14:00～
ひろみちお兄さんの親子体操教室

☆体操のお兄さんとして大人気の佐藤弘道さんが、体操の楽しさを伝えにやってきます。
自由　1,000円（２歳以上）
※観覧希望者も入場券が必要
【３月16日㈰発売開始】
※必ず上靴をご持参ください。
※動きやすい服装でお越しください。
※託児サービス（２歳未満）があります。希望者は４月27日㈰までに電話で申し込んでください。ただし、定員になり次第締め切ります。
チケット販売場所
ビバシティ彦根　くらしのサービスセンター
アル・プラザ彦根　くらしのサービスセンター
ひこね市文化プラザ　チケットセンター
市民体育センター